

新潟県健康ビジネス協議会 設立趣意書

協議会の設立にあたって

健康長寿は有史以来究極の欲望であった。どんなに強大な帝国の支配者であっても病、老いと死への怖れから免れることは出来ず、持てる富を注ぎ込んで不老長寿を目指した。産業革命以降人々の暮らしは格段に向上し、医学の進歩によって人々は健康になり長寿となった。病気を予防し、健康で快適な身体を望む心は、地球上 60 億人類の普遍的なニーズとなった。特に少子高齢化が進む先進国日本において、高度経済成長時代の基本的、物質的なニーズが満たされた今日、多様化する健康ニーズに応える健康・福祉・医療に関わる市場は、今後中期的に色あせることのない内需型の成長分野である。

健康・福祉・医療市場は、食、ものづくり、サービス、交流など多様な産業に関連する裾野の広い市場である。多くの企業、事業者、生産者が地域や自らの強みを活かした健康ビジネスに取り組むことで消費者の健康長寿に貢献し、また、企業、事業者、生産者は持続的な成長を得ることが出来、その結果として地域社会も活性化する。

企業、事業者、生産者から見れば、既存の事業が役割を終え、自らの強み、地域の強みを活かした新規事業分野に挑戦するとき、健康ビジネスは最も優先して挑戦すべき分野の一つである。

このような認識のもと、私たち企業、事業者、生産者は個々の力を結集し、新潟県が進めてきた健康ビジネス連峰政策とともに学・医・官とも連携しながら、共に進んで自社の成長を追求するため、全国に先駆けて異業種横断型の健康ビジネス事業者団体、新潟県健康ビジネス協議会を結成する。

協議会の活動

- 1 新たなビジネスモデルへの挑戦や市場開拓を目的に、以下の事業を行う。
 - (1) 情報発信・情報交流に関すること
 - (2) 人材育成に関すること
 - (3) 調査研究に関すること
 - (4) 国県への政策提言に関すること
 - (5) その他、本協議会の目的達成に必要な事項
- 2 協議会は3つの部会を構成する。
 - (1) 食部会
 - (2) サービス・交流部会
 - (3) ものづくり部会

協議会の会員

協議会は異業種会員間の情報共有や市場研究による、多くのノウハウやビジネスプランの蓄積、事業創造を進めるため、本協議会の趣旨に賛同する企業・団体等を見つけて新潟県の内外・業種の別を問わず広く募ることとする。

このほか、協議会の発展に向けた助言を頂くため、本協議会に学医官からなるアドバイザーを置く。

平成 21 年 10 月 5 日

新潟県健康ビジネス協議会設立準備会議

代表	株式会社ブルボン		
	代表取締役社長	吉田	康
	新潟巧測株式会社		
	代表取締役社長	佐藤	巧
	株式会社青芳製作所		
	取締役専務	秋元	幸平
	ホリカフーズ株式会社		
	代表取締役社長	川井	義博
	越後製菓株式会社		
	代表取締役会長	山崎	彬
	大庄株式会社		
	総合科学新潟研究所	石綿	良夫
	竹井機器工業株式会社		
	代表取締役社長	竹井	顕一郎
	株式会社長生館		
	代表取締役専務	荒木	善紀
	新潟製粉株式会社		
	工場長	藤井	義文
	学校法人新潟総合学園		
	総長	池田	弘
	新潟バイオリサーチパーク株式会社		
	代表取締役社長	佐藤	征也
	株式会社雪国まいたけ		
	取締役兼執行役員	大平	洋一
	株式会社第四銀行		
	金融サービス部長	須藤	一
	株式会社北越銀行		
	金融サービス部長	熊倉	哲
	株式会社大光銀行		
	金融サービス部長	江部	誠一